

# Q

## 日本の教育制度の一番の問題点は？

Category

人材／教育



回答者 浅利 剛之

札幌日本大学学園理事長  
札幌日本大学中学校・高等学校校長



**A** 私は現在私立中高の理事長校長ですが、以前は大学の工学部を卒業後プラントエンジニアリング会社でエンジニアとして東南アジア・中東を中心に海外赴任をしていました。またその後オーストラリアの大学で教育学を学び、帰国してからは教員として働く傍ら、大学通信で経営の勉強をし、地元の経営者の会でも勉強しました。このような経験をしてきた中で考える日本の教育制度の問題点を考えます。まずどんな経験をした人が教師であるべきかを考えます。他の答えにあるように教員は大学を卒業して基本的にすぐに教員になるわけで外の世界を知りません。そこが大きな弱点です。では外の世界（民間会社等）を経験した人が教員をやるとうまくいくのか。これも必ずしもYESとはいえません。以前大阪府で民間人校長を大量に募集して学校現場に入れたことがありますが、ことごとく失敗して今はほとんど残っていないのではないのでしょうか。これは教員集団が独特で民間出身者がうまく受け入れられないと考えている一般の方も多いと思いますが、教員はいじわるをしているわけではなく、経験者しか理解できない子供、生徒を扱う現場での現実を理解していないからなのです。ですから民間と学校の理屈をどちらからも共有できる人材が社会と学校をつないでいける人材だと考えます。

さて、質問の日本の教育制度の問題点に移りますが、この質問の意味を、世

界に共通する根本的な教育の問題点ととらえるか、他国と比較しての日本の教育の問題点ととらえるかで回答が異なります。世界共通の教育問題とすると、実は世界のどの国も学校で教える科目は似たような設定をしています。学校で語学、数学、文学、科学、芸術、スポーツなどを学ぶのは万国共通です。ですからここを実用的に崩して変えていく必要があります。産業界と連携して必要な実学を中心に学んでいくべきだと思います。根本的に教育に対する考え方を変えることになり、これを目指すなら日本独自で道なき道を進んでいくことになります。他国と比較した日本の教育の問題点と考えると、扱っている教科、内容に世界的に大きな差異はない中、日本の教育はむしろ優秀でペーパーテストは世界の中でも高得点をとれる水準だと思います。ただ欧米を中心とする国と比較して、プレゼンやディベートなど自己表現が苦手、そして自分で考えて新しい発見や新しいものを開発する力は劣っています。日本ではそういう教育をしていませんでしたから当然です。文部科学省もそこは気がついていて、日本の教育の問題は知識偏重、受験至上主義にあると言っています。これらの問題は日本だけではなく中国や韓国などのアジアの国特有の問題でもありますが、文部科学省の掲げる教育改革は新しい学力の定義づけを従来の知識に加えて、深い思考力、主体性、表現力、協調性なども学力の一部にしようとして現在取り組んでいます。そして日本の従来の教育の弱点を克服していこうと向かってい

ます。

ところが、テストの公平性や評価の難しさ等があり非常に導入が難航しています。欧米などではうまく運用できて、日本では難しいのは、日本人の細かさ、潔癖症の国民性が大きく影響していると思います。変えていくには大変な困難があります。しかし日本国民は世界ではまねのできないすばらしいものをもっています。それに気がつきそれをアドバンテージとして保ちつつ、世界基準の中でも見劣りしない力を身につけていけば、世界に誇れる唯一無二の教育ができあがると思います。

回答者Profile

浅利 剛之

プラントエンジニアリング会社に勤務後、オーストラリアの大学で教育学を学び、オーストラリアの学校の教員免許を取得。北海道札幌近郊の私立中・高で化学教員となり、教頭、副校長を経て、2012年より校長、2018年からは理事長兼任。